2026 RACE REPORT

Green Brave

＃52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2

2026 年 10 月 24 日（土）～25 日（日）

BRIDGESTONE SuperTaikyu JapaneseEnduranceRace ENEOS

ENEOS スーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE 第 6 戦

スーパー耐久レース in 岡山（3 時間レース）岡山国際サーキット（岡山県美作市）

■予選 1 位を獲得するもスピード不足に苦しみ 3 位■

第 6 戦のレース時間は 3 時間。Green Brave の年間ランキングは現在 2 位で、トップの#25 日産 Z とは 14 ポイント差がついています。#25 日産 Z の前でチェッカーを受け、ポイント差を縮めて最終戦につなげるのが今大会の目標です。土曜日（予選日）の天候は曇り。今にも降り出しそうな空模様ですが、ほぼドライで予選が行われました。A ドライバー、松井宏太選手は 4 周目に 1 分 35 秒 978 をマーク。後続にコンマ 6 秒差をつける好タイムで、A ドライバーのトップにつけました。B ドライバーの野中選手は 4 周目に 1 分 35 秒 681 をマーク。両ドライバーの合算タイムにより、5 戦連続のポールポジション（予選 1 位）を獲得しました。C ドライバーの服部選手、D ドライバーの吉田選手は決勝を見据えた確認走行を実施。予選結果により、ポールポジションポイント（2 点）を獲得し、#25 日産 Z とのポイント差は 12 となりましたが、#25 日産 Z はすぐ後ろの予選 2 位につけており、まったく油断できない状況です。

決勝結果（ST-Z クラス）

＃52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2

（松井宏太／野中誠太／服部尚貴／吉田広樹）

決勝 3 位（108 周、3 時間 01 分 36 秒 354）

1 位（合算タイム：3 分 11 秒 659）



日曜日（決勝日）の天候は曇り。お昼前に雨が降りましたが、スタート前に雨は止み、ほぼドライです。決勝レースでは、2 回の給油を伴うドライバー交代義務があるため、チームは吉田、野中、松井とつなぐ 3 スティント作戦を立案。タイヤの交換本数をなるべく減らし、ラップタイムをカバーする作戦です。なお、服部選手はスポッターとしてピットから指示を送ります。吉田選手はトップをキープして 1 周目を終了。予選 2 位の日産 Z、同 3 位の#34 アウディをおさえて周回を重ねます。5 周目、#34 アウディが#25 日産 Z を抜き、吉田選手に接近。吉田選手はしばらくの間、トップをキープしていましたが、13 周目に抜かれ、2 位に後退します。18 周目には#25 日産 Z と#20 日産 Z に相次いで抜かれ、4 位へ。クラス最大、80 kgのウェイトを積んでいるため、予想通りの厳しいレース展開ですが、GR Supra 勢の最上位はキープしています。38 周目、#20 日産 Z がピットに入り、吉田選手は 3 位に浮上。約 1 時間 16 分の走行を終え、45 周目に 1 回目のピットインを行います。野中選手に交代し、作戦通りタイヤ無交換でピットアウト。野中選手の順位は 5 位です。

上位 2 台のピットインにより、野中選手は 47 周目に 3 位へ。49 周目にはトップの#25 日産 Z がピットに入り、2 位に浮上します。3 位はピットインを終えた#34 アウディで、その差は約 12 秒。51 周目、先頭車両のピットインによりトップに復帰すると、野中選手はタイヤ無交換の不利な状況の中、#34 アウディとの差をキープします。しかし、徐々に両車の差が詰まり、スタートから 2 時間を迎えようとする 68 周目には 3 秒差に。翌周、野中選手がピットに入り、松井選手に交代。給油と運転席側のタイヤ 2 本のみの交換を行い、ピットアウトします。順位は 6 位で、残り時間は乗車義務時間と同じ 1 時間です。上位のピットインにより 74 周目に 5 位、84 周目に 4 位へ。85 周目にはトップの#25 日産 Z が 2 回目のピットインを行い、3 位に上がります。2 位の#34 アウディとの差を詰めたい松井選手ですが、タイヤの摩耗が進行し、4 位でコースに復帰した#25 日産 Z の接近を許します。88 周目、上位のピットインにより 2 位に上がりますが、96 周目に#25 日産 Z に抜かれてポジションダウン。松井選手は 3 位をキープし、108 周目にチェッカーを受けました。#25 日産 Z は 100 周目に#34 アウディを抜き今季 3 勝目。ポイント差は 20 に拡大しましたが、チャンピオンが決まったわけではありません。Green Brave はあきらめることなく、チーム一丸となって戦います。



©2026 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.

■DRIVERS VOICE

松井宏太選手

すごく悔しいです。ライバルの前に出るのはこの作戦しかなかったので、行くしかありませんでした。チームと考えた戦略でしたが、守り切れないというか、自分の力量もそうですが、前を追っかける足がなかったというのが率直なところです。スタートした段階で他車とのポジション争いが今回はきつくなるだろうと思っていたのですが、その中で最大限自分のやれるところをやったと思います。次戦の富士は 24 時間の時に優勝できなかったコースなので、しっかり戦いたいと思います。

野中誠太選手

予選では雨がぱらついたのですが、特に問題なく、以前と同じ感触で走ることができたので良かったです。決勝ではやり切ったと思うので、仕方がないかなというところです。ぼくはタイヤ無交換で引き継いだので、それなりのグリップしかありませんでした。単独で走っていたので、特にバトルもなかったです。良くも悪くもという感じです。まだランキング 2 位につけているので、あきらめずにチャンピオン獲得を目指して頑張って走りたいと思います。応援よろしくお願いします。

服部尚貴選手

悔しいです。#25 日産 Z のチームが最後に速いドライバーをもってきたこともありましたが、クルマ的にも向こうの方が速かったですね。雨も含めてレース中にいろいろ起こった時のことは考えていましたが、今回は本当に何も起きませんでした。セーフティカーも出ずに淡々とレースが進行し、クルマの速さだけが目立ってしまった感じです。
#25 日産 Z とのポイント差はさらに離れてしまいましたが、最終戦でまだ逆転の可能性を十分残していますので、最後まであきらめずに頑張ります。

吉田広樹選手

ペース的になかなか厳しかったです。スタート直後からまわりのクルマにプッシュされ続けて、どうにか耐えようとしていたのですが、抜かれてからはジリジリと離されてしまいました。同じ車種の GR Supra は似たようなタイムでおさえることはできたのですが、他車に対しては厳しかったです。毎レース一生懸命やって、自分たちがベストだと思えるレースができればもしかしたらチャンスが来るかもしれないですし、そこに賭けて、最終戦に向けて準備して挑めればと思います。

ST-Z クラス　決勝結果

順位	チーム	周回数
1 位	#25 日産メカニックチャレンジ Z NISMO GT4（日産 Z NISMO GT4）	108 周
2 位	#34 TECHNO FIRST R8 LMS GT4（アウディ R8 LMS GT4）	108 周
3 位	**#52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2（トヨタ GR Supra GT4）**	**108 周**
4 位	#338 GR Garage Balakong GR Supra GT4（トヨタ GR Supra GT4）	108 周
5 位	#20 NANIWA DENSO IMPUL with マツモトキヨシ Z（日産 Z NISMO GT4）	108 周
6 位	#885 シェイドレーシング GR Supra GT4 EVO2（トヨタ GR Supra GT4）	107 周

出走 11 台 トップ 6 まで

ST-Z クラス　ポイントランキング

順位	車番	チーム	ポイント
1 位	25	TEAM ZEROONE	135.5
2 位	**52**	**埼玉 Green Brave**	**115.5**
3 位	34	TECHNO FIRST	96
4 位	22	KOKUSAI GROUP SPORTS TEAM	69
5 位	20	チームインパル	66
6 位	885	SHADE RACING	65

上位 6 位まで

[次戦予告] 11 月 14 日～15 日 富士スピードウェイ（静岡県）

Green Brave PARTNERS

赤城車体工業株式会社

株式会社アルシェ

アルファクラブ武蔵野株式会社

株式会社 FM NACK5

株式会社岡崎巧芸

株式会社カーグラス・JP

埼群スリーボンド株式会社

株式会社三和広告社

JU 埼玉オートオークション株式会社

株式会社西武ライオンズ

株式会社セーフティーライフ

ティーズ・ワークス

株式会社デンソーソリューション

東京キリンビバレッジサービス株式会社

トヨタホーム東京株式会社

トヨタモビリティパーツ株式会社 埼玉支社

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社

マックメカニクスツールズ株式会社

丸和工業株式会社

Mechanix Wear LLC

株式会社リビコー

©2026 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.